



JAMBOREE INFORMATION #02

第17回日本スカウトジャンボリー 大会情報 ジャンボリーインフォメーション 第2号 2018年4月3日発行

会期：2018年8月4日～10日（金）

参加者：13,000人

会場：石川・珠洲市「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」

テーマ：冒険 ～能登のチカラ未来へ～

ジャンボリーインフォメーションとは？

ジャンボリーインフォメーションは、各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供することを目的として発行します。大会までに3回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきますので、ホームページで公開される情報に加えて、準備に活用してください。

目次

参加確定申し込み・・・・・・・・・・1	サブキャンプライフ・・・・・・・・・・8	見学者最新情報・・・・・・・・・・15
プログラム最新情報・・・・・・・・・・2	食材の配給と献立・・・・・・・・・・10	大会アプリ・SNS・・・・・・・・・・16
フリーパフォーマンスの募集・・・・・6	最新会場図・・・・・・・・・・12	次号の予定・・・・・・・・・・16
スカウト通信員プログラム・・・・・6	救護体制・健康管理・・・・・・・・13	お問い合わせ先・・・・・・・・・・16
大会ソング・・・・・・・・・・・・・7	セーフ・フロム・ハーム・・・・・14	

参加確定申し込み

参加確定申し込みの期日は、次のとおりです。まだ、手続きが済んでいない方は大会ホームページをご参照のうえ、期日までのお申し込みをお願いいたします。

参加確定申込期日

団から県連盟への申し込み

4月10日（火）まで

県連盟から日本連盟への申し込み

4月20日（金）まで

なお、大会本部各部やサブキャンプ本部等の大会運営スタッフは、大会ホームページのフォームより参加申込書を作成のうえ、各県連盟にお申し込みください。

※お申し込み方法は各所属県連盟により異なりますので、必ずご確認ください。



プログラムテーマ

ジャンボリーインフォメーション第1号では、一部名称未定となっていましたが、次のとおり名称が決まりました。

テーマ①：チームワーク

進級課目と関連し、班対抗競技によりチームワークを高める。

テーマ②：カルチャー

自然や文化体験をとおして、将来のキャリア形成につなげる。

テーマ③：サバイバル

会場の広さや参加人数の多さを体感し、スキルアップを図る。

テーマ④：マリン

会場の特性を活かした、砂浜や海辺に特化した体験をする



モジュールプログラム

各サブキャンプの参加隊は、5つのグループに分けられ、割り当てられた5つのプログラムモジュールに半日単位で参加します。また、班対抗プログラムは、最少5人、最多8人で参加し、4人を下回る場合は、その場で混成班を組んで参加します。



サターン

場所：多目的広場、野球場

モジュール	テーマ	プログラム名称	目安時間
S-1	チームワーク	【日本一】手旗信号リレー	45分
S-2	チームワーク	【日本一】班旗立て	45分
S-3	チームワーク	【日本一】火起こし	45分
S-4	サバイバル	バランス駕籠	45分
S-5	サバイバル	ローマ戦車	45分
S-6	サバイバル	見附島上陸作戦	45分
S-7	カルチャー	アーチェリー	45分
S-8	カルチャー	ゴールドッチ	45分
S-9	カルチャー	セパタクロー	45分
S-10	カルチャー	バブルサッカー	45分
S-11	カルチャー	ボルトリング	30分
S-12	カルチャー	ローンボウルス	45分



ジュピター

場所：文藝館西

モジュール	テーマ	プログラム名称	目安時間
J-1	サバイバル	竹材ハイタワーコンペ	45分
J-2	チームワーク	丸太スライスレース	30分
J-3	チームワーク	竹材運びレース	30分
J-4	サバイバル	ピローファイティング	30分
J-5	チームワーク	ウェイトチョイス	30分
J-6	チームワーク	丸太登りレース	45分
J-7	サバイバル	ハンドアイ手旗筆記信号	30分
J-8	サバイバル	覚えなくても良い 単旗モールス	30分
J-9	チームワーク	手旗でSOS	30分
J-10	サバイバル	特別偵察員の計測法と 野帳報告	30分



アース

場所：テニスコート、グラウンド・
ゴルフ場

モジュール	テーマ	プログラム名称	目安時間
E-1	チームワーク	【日本一】コンパス ナビゲーション	30分
E-2	サバイバル	知って得する？ モールス信号	30分
E-3	サバイバル	電波が届かない！ 手旗で伝言せよ	45分
E-4	カルチャー	挑戦！究極キムス	45分
E-5	カルチャー	THE はかる	45分
E-6	カルチャー	グラウンド・ゴルフ	30分
E-7	カルチャー	ラグビーW杯	30分
E-8	チームワーク	ハイキング、 オリエンテーリング	半日



ヴィーナス

場所：わくわく夢らんど

モジュール	テーマ	プログラム名称	目安時間	
V-1	カルチャー	天体観測	60分	
V-2	カルチャー	アマチュア無線実験室	30分	
V-3	カルチャー	ワールドスカウティング	30分	
V-4	チームワーク	救命救急 24時	60分	
V-5	カルチャー	企業・団体協力による プログラム（現在、調整中）	30分	
V-6	カルチャー		30分	
V-7	カルチャー		30分	
V-8	カルチャー		30分	
V-9	カルチャー		30分	
V-10	カルチャー		30分	
V-11	チームワーク		60分	
V-12	カルチャー		45分	
V-13	カルチャー		レザークラフト	30分
V-14	チームワーク		キャップハンディ	30分
V-15	カルチャー	サイクリング	半日	



マーキュリー

場所：鉢ヶ崎海水浴場

モジュール	テーマ	プログラム名称	目安時間
M-1	チームワーク	海中綱引き	60分
M-2	マリン	ライフセービング競技	60分
M-3	マリン	ウインドサーフィン	90分
M-4	マリン	シーカヤック体験	90分
M-5	マリン	スタンドアップ・ パドルボード体験	90分
M-6	サバイバル	ストラックアウト	30分
M-7	サバイバル	ミニトリアスロン	60分
M-8	チームワーク	月面ロボット出動	30分
M-9	マリン	那須の与一 ～これが本当の弓だ～	45分
M-10	マリン	ライフガード 海難救助艇出動	45分
M-11	マリン	サンドアート	半日



ジャンボリーゲーム日本一

18NSJ、19NSJに継続していくプログラムとして、「ジャンボリーゲーム日本一」を実施します。ジャンボリーゲーム日本一では、スカウトスキルを用いた次の4種類の班対抗ゲームを行い、日本一を決めます。成績優秀班（第1位、第2位、第3位）を称え、閉会式前に表彰式を行い、特別な記章を授与します（授与の機会および制服への着用については関係部署と調整中です）。

日本一を目指して、準備訓練を行ってください（ルール等は、大会ホームページにて更新していきます）。

1. 通信（手旗信号リレー）

手旗信号の受信と送信を駆使した班対抗のタイムトライアル伝言ゲーム。

1. 班の代表は出題者から課題を受け取り、指定された「単語」を確認する。
2. 代表は指定された単語を、手旗を活用して次の班員へ送信する。
3. 最後の班員が回答を受け取り次第、出題者に指定された「単語」を伝える。

2. 結索（班旗立て）

与えられた資材で自分たちの班旗をできるかぎり高く掲げ、かつ自立させるゲーム。

1. 直径5~10cm、長さ1.8~2mの竹や木材が混ざっており、自由に材料を確保する。
2. スタートの合図で、5~6mmのクレモナロープを用いて、適した結びを使って資材を結ぶ。
3. 制限時間20分以内に高くかつ自立するように結索を行う。
4. 班旗の先端から垂らしたタコ糸が地面に接した場所に印をつけ、下ろしてから計測する。ただし、制限時間以降に15秒間自立していなければ、計測の対象とはならない。

3. キャンピング（火起こし）

与えられた資材と条件の中で、素早く火を起こし、炎で資材を焼き切るゲーム。

1. スタートの合図で薪組みと火起こしを開始。火をつけるスカウトは1人ずつとする。
2. 薪組みは高さ30cmまで。その上約10cmの高さに渡した竹ひごを焼き切る。
3. 支給するマッチは2本とし、1本追加するごとに30秒を加算する。
4. 制限時間は20分。スタートの合図から、竹ひごを焼き切るまでの時間を計測する。



4. コンパス（コンパスナビゲーション）

指示書に示された方位角に従い、円上のポイント（コーン）を回り、カードに書かれた文字を記録するゲーム。

1. スタートの合図でカードに記された方位角に従い、方角上のコーンに進み文字を記録する。
2. その動作を指示書の枚数分繰り返し、文字を記録する。
3. 記録文字の正確性と時間で算出し、班員の合計得点を競う。

共通ルール

- ・各プログラムとも参加は1回限りです。個人での参加ではなく班としてエントリーします。
- ・BS班とVS班に分け、それぞれ5人班、6人班、7人班、8人班の4つの区分で参加します。5人に満たない班は、他の班と合同して上記の人数班になるようにします。
- ・5人班、6人班、7人班、8人班のそれぞれ1位、2位、3位までを表彰します。
- ・班に1人でもベンチャースカウトがいる場合は、VS班としてエントリーします。

エキスカージョンプログラム

会場から離れて、能登の自然や文化、技術などを学びます。バスを使用する場外の有料プログラムで、8月6日(月)と8日(水)の2回実施します。希望者のみの事前申し込み制で、バス代や施設入場料等の参加費を事前に納入します。また、参加の際は参加隊指導者が引率してください。



参加費や申し込み方法は、4月下旬にご案内し、5月1日(火)から31日(木)までを申し込み期間とする予定です。今後の情報をご確認ください。

No.	プログラム名称	プログラムエリア	所要時間
1	能登の里山里海体験	能登半島 外浦	全日
2	シーカヤック体験	能登半島 内浦	半日
3	大型カヌー体験	能登半島 内浦	半日
4	日本3大パワースポット訪問	能登半島 北部地区	全日
5	能登輪島の歴史・文化・生活に触れる旅	輪島周辺	全日
6	「能登立国1300年」の歴史を訪ねる旅	七尾周辺	全日
7	海上自衛艦 体験乗船	輪島港	全日
8	飛行機を動かす	のと里山空港	全日

プログラム参加による 進級課目等の認定について

大会の各種プログラムへの参加、サブキャンプでの生活や班活動を通じて、各進級課目や信仰奨励章の細目の修得につながる機会があります。大会のプログラム参加が進級の励みとなるよう、参加隊でもスカウトの進級に応じた取り組みをお願いします。

自団の隊のまま参加する方式で参加し、所属の隊長や班長がいる場合には、会場で履修を確認してサインを受けられます。派遣隊方式や所属の隊長や班長がいない場合には、所属隊に帰ってからサインを受けますので、会場での履修を大会のハンドブックに記録するよう奨励してください。

サブキャンププログラム

サブキャンププログラムは、モジュールプログラムやエキスカージョンプログラムを実施しない7日(火)と9日(木)の午後、6日(月)と8日(水)の夜間といった余暇の時間帯を利用して行う、サブキャンプ内の参加スカウト同士での交流や、所属する班や団・地区における伝統芸能や舞踊・ソングやスタンツを披露する時間を設ける予定(詳細は調整中)です。

主なプログラム

交歓プログラム、スキル・オ・ラマ、スワップ、友情(ワイド)ゲーム

ジャンボリー・アワード

ジャンボリー・アワードは、大会期間中、各種プログラムへの参加を含む課目を達成したスカウトに対して、授与します。

1. 基本	認定区分			
	隊長	上級班長	班長	プログラム
(1)「ちかい」と「おきて」の実践				
ジャンボリーの生活の中で「ちかい」と「おきて」を実践する	○			
(2) 善行				
ジャンボリー期間中、1日1回は善行に取り組む	○			
(3) ジャンボリーの生活				
野営生活を快適にするために、班で話し合い、日々の改善に取り組む		○		
班の仲間のために、自分の役割を果たす		○	○	
(4) 信仰、スカウトOWN・サービス				
各教宗派が提供するプログラム(宗教儀礼やパビリオン)に参加する	○			○
班や隊で行うスカウトOWN・サービスに参加する	○	○	○	

2. プログラム	認定区分			
	隊長	上級班長	班長	プログラム
各テーマのプログラムに2つ以上参加する	○			○
ジャンボリーゲーム日本一プログラムに挑戦する	○			○
友情(ワイド)ゲームに参加、課題に取り組む	○		○	
他の隊や班と交歓する	○	○	○	



フリーパフォーマンスの募集

17NSJでは、新たな試みとして各全体行事（開会式・ジャンボリー大集会・閉会式）の開始前の時間に、各ブロックの演技とは別に、参加スカウトにより自由に応募できるフリーパフォーマンスを実施します。

参加スカウトによる自由なパフォーマンス、大会ソングに合わせたダンスなどの大会ソングパフォーマンスを募集します。1人でも、グループでも応募できますので、ぜひ挑戦してください。

大会ソングの情報や応募用紙などの詳細は、大会ホームページをご確認ください。

内 容：各グループの特色を活かしたもの

演技時間：5分以内（ステージ入退場の移動時間を含む）

人 数：20人以内

使用可能場所：ステージ上およびステージ前の地面

応募資格：本大会に参加するベンチャースカウトおよびボーイスカウト

応募方法：動画による審査を行いますので、youtubeに動画をアップロードのうえ、非公開のURLを応募用紙に記入して、日本連盟までお送りください。

締め切り：6月8日（金）

スカウト通信員プログラム

各参加隊のスカウト通信員は、各都道府県へ向けた広報窓口として、ジャンボリーの広報に努めます。

将来メディア関係の仕事を目指すスカウトにとってはこのプログラムは有益な体験の機会となり、そうでないスカウトにとっても所属隊や連盟の仲間へ貢献する機会としてやりがいのある経験となります。

スカウト通信員

各参加隊につき1人を任命してください。スカウト通信員は、事前から各県内でジャンボリーに関する広報活動を県連盟広報担当者や参加隊の隊長の支援のもとに行います。大会期間中は、それぞれの地元メディアへの発信や、各隊等のSNS、ジャンボリー新聞、オフィシャルSNS等へ情報発信するため、取材・原稿作成などを行います。また、スカウト通信員の中から若干名のスカウト報道官を任命し、外部メディアへの対応に参加してもらいます。

期間中の主な役務・プログラム

1. 地元メディアへのニュース提供および取材・記事執筆活動等。
2. キックオフミーティング
日時：8月5日 AM10:00、PM2:00
（どちらか1回参加）
場所：メディアセンター（野球場）
3. 特別記者会見
実行委員長やゲストなどの特別記者会見への参加（23WSJでは野口宇宙飛行士などの記者会見を開催）。



選出期限：5月31日（木）

登録方法

オンライン登録になります。詳しくは大会ホームページをご確認ください。

県連盟広報担当者

スカウト通信員を支援し、各県の地元メディアに対して、事前からジャンボリー情報の発信に努めます。また、大会終了後も引き続きスカウト運動を紹介いただけるようメディアとの関係構築に努めます。

大会ホームページを通じてテーマソングを公募したところ、全国の加盟員・非加盟員 8 人から 10 作品の応募がありました。17NSJ 実行委員会での審査の結果、次の作品が選考されました。

テーマソングは、隊や班での歌唱を想定し、覚えやすく、無伴奏でも楽しく歌え、会場でも全員で歌えるもの

大会テーマソング

能登のチカラ未来へ

作詞：田中 杏奈（福岡県連盟・北九州第 55 団）
作曲：田中 秀幸（福岡県連盟・北九州第 55 団）
編曲：Pants Gonzales 哲朗（UNBRANFORD）
歌・演奏：UNBRANFORD（矢田俊介 / Pants Gonzales 哲朗）

1. ぼくらが作る世界が ここから始まる
仲間とともに進もう 迷うことはないさ
どこまでも つづく海 晴れ渡る青空
大きな夢があふれる 能登のチカラ未来へ
Oh! Scout Jamboree!
珠洲の風にのって
Oh! Scout Jamboree!
さぁ！冒険が始まる
2. ぼくらが作る世界は ここから始まる
仲間とともに進めば 恐れることはないさ
どこまでも つづく想い 澄み渡る心は
大きな希望あふれる 能登のチカラ未来へ
Oh! Scout Jamboree!
珠洲の風にのって
Oh! Scout Jamboree!
さぁ！冒険が始まる

を選考した他、楽曲として優れていた作品を会場や映像資料等で活用するイメージソングに選考しました。

大会ホームページ等で楽曲を公開していますので、事前訓練等で練習しましょう。

大会イメージソング

「HORIZON」(ホライズン)

作詞・作曲：Pants Gonzales 哲朗（UNBRANFORD）
編曲：UNBRANFORD
歌・演奏：UNBRANFORD（矢田俊介 / Pants Gonzales 哲朗）

1. 駆け上がって太陽の軌道 遥か遠く 僕ら包んでく
「何だって出来る」と心に抱いて 願う無限な空へ
目の前にずっと広がる世界 描いている夢がある
手を取って歩いて行くイメージで

あともう一步、もう一步
果てしない旅の真ん中で
僕ら上手くはいかない事もある
だからもう一步、もう一步
壁を乗り越えて 空の向こうには希望がある
2. 笑い方も人それぞれで 僕らは分かつ
自分の色(カラー)
目の前にずっと広がる世界 描いて行く夢がある
苦しみも戸惑いも感じて

あともう一步、もう一步
果てしない旅の真ん中で 時に見失ってしまう日々
だけどもう一步、もう一步
前見て歩いて行こう 空の向こうには希望がある
僕らのチカラで未来へ



野営資材の斡旋について

竹等の野営資材を事前予約にて斡旋します。品目・価格等の詳細は、大会ホームページをご確認のうえ、希望する参加隊は所属の県連盟を通じて5月31日（木）までにお申し込みください。

灯火用燃料の事前予約販売

灯火用の燃料について、事前予約販売を行います。品目・価格等の詳細は、大会ホームページをご確認のうえ、希望者は6月22日（金）までにボーイスカウトエンタープライズへお申し込みください。



薪による炊事

薪を燃料とする炊事では、刃物によるケガが発生しやすく、過去の大会で炊事用燃料に薪を使用した際にはナタによる創傷が、薪を使用しなかった大会に比べ増加する傾向にあります。

第14回日本スカウトジャンボリー

2006年・石川県珠洲市開催

創傷:389件（再診、ナタ以外の原因を含む）

うち約40人が中央救護所で縫合処置を受ける。
※中央救護所のみでサブキャンプ救護所での受診を含まない。

第15回日本スカウトジャンボリー

2010年・静岡県朝霧高原開催

ナタによる創傷:152件（再診を含む）

うち19人は場外の病院にて治療。

第15回日本ジャンボリー後、隊長へ行った調査では、一般的に言われている事故の要因と同様に、ナタによるケガも人的要因〔スカウト/指導者〕、物的要因〔ナタ/薪〕、環境的要因〔環境〕によって発生していたことが明らかとなりました。また、ケガはいくつかの要因が偶然重なった時に起こりますが、何らかの要因が「スカウト」「指導者」「道具」「環境」「薪」にあっても、それらに対策を講じれば結果的に安全を確保でき、ケガ予防につなげることができることも示されました。

右頁は、この調査の抜粋・要旨です。ナタによる事故を防ぐため、ナタの使用について事前訓練や会期中に指導を行った隊の主な対策内容を紹介しています。また、特定の対策をとるよりも、それぞれの隊に合った方法（指導者自身の経験から予測する事故のパターンへの対策やスカウトの技能を評価した結果から必要に応じた個別的な対策など）で指導することがより効果的で重要です。各参加隊において、事前訓練でそれぞれの技能を再確認し、事前・会期中に必要な対策を講じてください。

焚つけづくりに便利！

キンドリングクラッカー

女性や力の弱い人でも安全、しかも簡単に焚きつけづくりができる道具も市販されています。

薪を安全リングの中に通し、片手で薪を軽く支えながら刃に食い込む程度にハンマーで軽く叩き、手の支えをはずし、引き続きハンマーでたたき割ります。また、安心して作業できるよう刃の部分に手が入らない設計となっています。



協力：ファイヤーサイド株式会社

〈15NJにおけるナタによるケガの予防に関する調査（抜粋・要旨）〉

各隊でナタによる事故・ケガを予防するために行った対策

事故の要因		大会前に行った対策	会期中に行った対策
人的要因	スカウト	<ul style="list-style-type: none"> ・使用経験や習熟度の確認 ・技能に応じて個別に指導 ・各刃物の特徴や使い方を指導 ・ナタの正しい扱い方や使用手順を指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢・級・役務・技能レベルによってナタの使用者を限定、薪割り担当を固定 ・ナタの使用方法を繰り返し指導 ・必要最低限の薪しか割らない ・手袋、靴、長ズボン着用の徹底
	指導者	<ul style="list-style-type: none"> ・各指導者の技量を確認 ・薪割り・刃物を指導する担当者、工具の保管や手入れの担当者を決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者・ベンチャースカウトのもとで実施 ・危険な使い方はすぐに注意し、安全な使い方を指導
物的要因	ナタ	<ul style="list-style-type: none"> ・事前訓練で使用したナタを整備して持参 ・新しいナタを購入 ・小型のナタ、左利きのナタを用意 ・ナタの背をたたく小槌を用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・工具箱への収納、管理の徹底 ・各班に刃物の責任者を決め管理を徹底する ・指導者がいないときにナタは使用させない
	薪	<ul style="list-style-type: none"> ・薪の種類、材質、燃え方などの特徴を教える ・大会で使用するための針葉樹や広葉樹を割る練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が同行して、割りやすい薪を選別 ・薪の堅さを確かめて、柔らかい薪を割るように指示 ・割れにくい薪は指導者が割る
環境的要因	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト設計図の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・薪割り・刃物使用エリアを明確化し、作業者以外が入らないようにする ・薪割りエリアを指導者から目視できる場所に置く ・安定した薪割り台を準備 ・夜間作業の禁止
その他 道具・代用品の 利用		<ul style="list-style-type: none"> ・太いまの薪を使用できるようにカマドを工夫 ・燃えさしを次の火起こしに使えるよう火消壺を準備 ・焚きつけ用に、割り箸、牛乳パックなどを持参 	

ケガが起こった時の状況

- ・ ナタを持ち上げようとしたときナタが手から滑り落ち、左手の上におちた。
- ・ ナタを振り下ろした時、薪の上でナタが跳ねて横滑りした。
- ・ 上手く薪にナタが入らずに、薪を支えていた方の手を切った。
- ・ 薪にナタが食い込んだ状態で振りかぶった。

指導者の考えるケガの原因

①スカウトの技能が原因とする回答

- ・ 事前の訓練キャンプに不参加だった。
- ・ 経験不足により力加減がわからなかった。
- ・ 割ろうとする力の入れ具合が調整できなかった。
- ・ 堅い薪を割る経験がなかった・慣れていなかった。
- ・ 薪を手で支えたまま振り下ろし、左手が刃の下にあった。
- ・ 使用方法の認識不足があった。

④ナタの保管・管理

- ・ ナタがよく砥がれていなかった。
- ・ ナタを使用後正しい場所にしまっていなかった。

⑤薪割り場の作業環境

- ・ 薪割りに使用する台がなかった。
- ・ 少し薄暗かった。
- ・ 地面が柔らかかった。

②ナタ使用時のスカウトの態度が原因とする回答

- ・ 指導者・グリーンバーの指示を聞かなかった。
- ・ 注意が散漫だった。注意不足だった。
- ・ 周りに気をとられてしまった。
- ・ 別のことを考えながら作業していた。

⑥薪の特徴

- ・ 薪が硬かった、非常に割れにくかった。
- ・ 薪の種類が2種類で混在していた。

③指導者による教育・指導

- ・ 指導者が不在だった。
- ・ 指導者の人手不足があった。
- ・ 対策が十分に周知出来てなかった。





食材の配給と献立

参加隊の食事

参加隊の食事は野外炊事とし、大会本部からサブキャンプ本部を通じて食料の配給を受けます（米は含まない）。

配給は朝夕の1日2回行い、朝の配給時に昼食用携行食を配ります。参加者は携行食を持って各プログラムサイトに移動することで、サブキャンプに戻ることなく午前・午後のプログラムに続けて参加することができます。また、炊事用の燃料は薪とし、食料の配給に準じて配給します。

食材の配給

食材は、8月4日夕食分から8月10日朝食分までの17食分を配給します。非常食として8月10日朝食の一部を8月4日に配給します。食料の取り扱いについては、特に衛生面に注意を払い、残った食材については食中毒の恐れがあることから次の食事に持ち越さずに廃棄してください。

参加隊は、キャンプサイトの区画単位で食材を受け取ります。各食材は8人分と10人分を基本に、端数を調整してキャンプサイトの区画の人数に応じた食数を配給します。



配給方法

配給は、参加隊の区画単位とし、炊事係等のスカウト複数人が「配給指示書」と食材を入れる容器、リヤカー等を持参します。また、自団の隊のまま参加する方式で1つの区画を複数隊で利用する場合には、隊サイトに戻ってから分配します。

なお、各区画の「配給指示書」は、参加隊到着時に配られ、毎回の配給の受付と数量の確認に使用します。

配給時間

- ・ 朝食・昼食（通常） 05:30~06:30
- ・ 夕食（通常） 16:30~17:30
- ・ 夕食（開会式、大集会、閉会式） 15:30~16:30
- ・ 退場日（8月10日）の朝食 8月9日 15:30~16:30

参加隊が持参する食料品

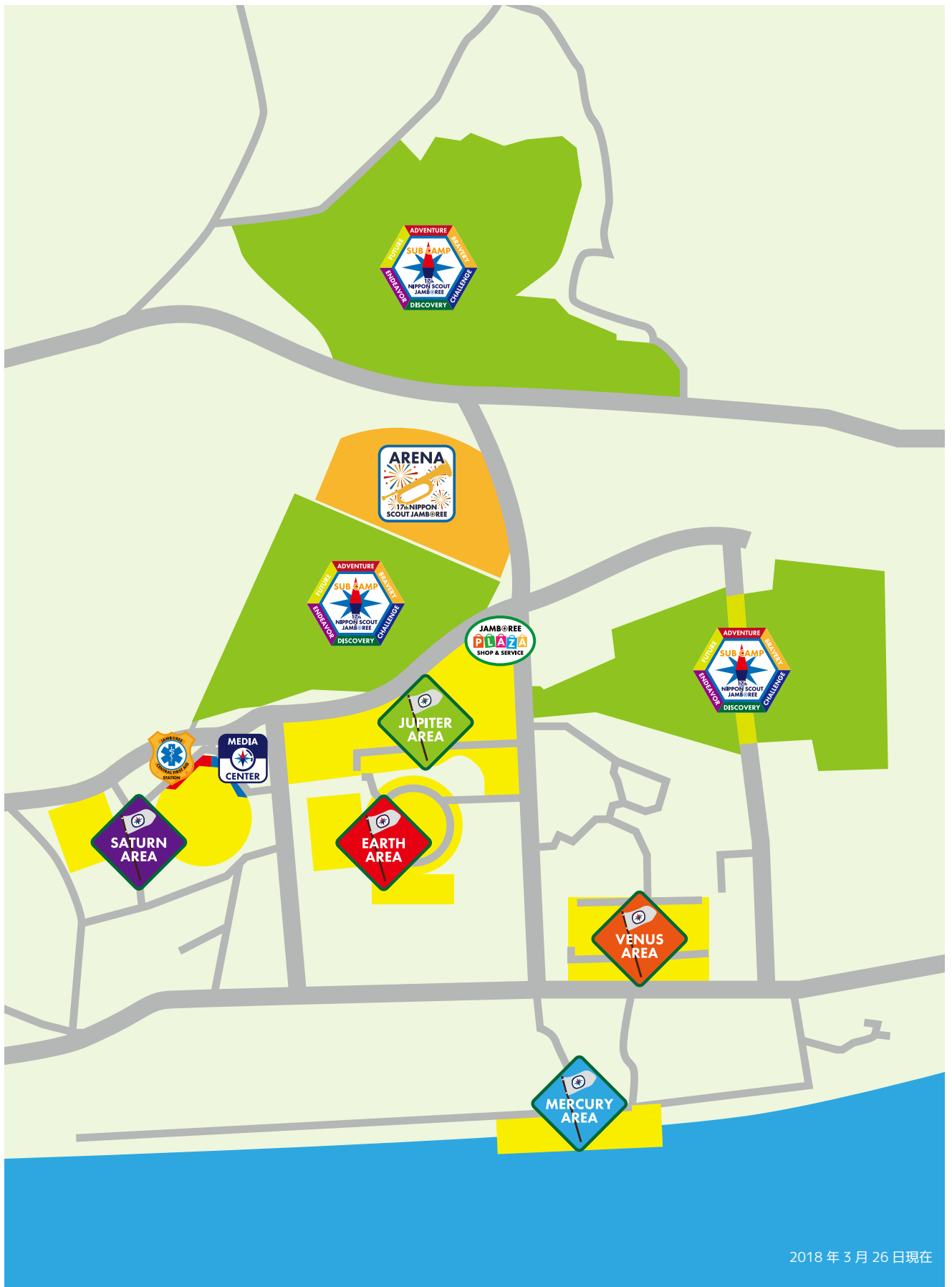
次の食品については、参加隊において、持参・準備するものとします。

- ・ 米（無洗米）
- ・ 基本調味料（みそ、だし、しょう油、塩、コショウなど）
基本献立を見て、必要量を計算し、持参してください。

参加隊の献立

日 程 主な行事	朝 食	昼 食	夕 食
8月4日(土) 参加者入場 設営			中華丼 玉ねぎスープ オレンジ
8月5日(日) 設営 開会式	ごはん、ハムエッグ 味噌汁 梅干し	おにぎり2個 魚肉ソーセージ、味付け大豆 お茶(紙パック)	ごはん、すき焼き ポテトサラダ フルーツゼリー
8月6日(月) プログラム	ごはん 焼き魚、味噌汁 スティックサラダ、オレンジ	惣菜パン・菓子パン 野菜ジュース ゼリー	海鮮パエリア ハムステーキ コーンスープ、酢の物
8月7日(火) 信仰奨励 ジャンボリー大集会	ごはん、焼き魚 味噌汁、酢の物 ふりかけ	おにぎり2個 チーズかまぼこ、味付け小魚 お茶(紙パック)	金沢カレー 野菜の酢漬け ゼリー
8月8日(水) プログラム	ごはん ツナスクランブルエッグ 味噌汁、梅干し	惣菜パン・菓子パン 野菜ジュース バナナ	ごはん 魚のホイル焼き なすとそうめん煮
8月9日(木) プログラム 閉会式	ごはん、ウインナー 味噌汁 野菜・海藻サラダ	おにぎり2個 笹かまぼこ、味付け小魚 お茶(紙パック)	ごはん とり野菜鍋(石川県料理) ゼリー
8月10日(金) 撤営 参加者退場	パン、魚肉ソーセージ カロリーメイト (8月4日配給) グレープジュース		





2018年3月26日現在

個人・隊の応急処置

すべての参加者は、小さなケガや病気に備えた応急手当キットと、既往症がある場合には大会日数に応じた医薬品と「お薬手帳」を持参してください。また、参加隊ではスカウトに応急手当用品を使えるよう指導をし、参加隊でそれらの備品を準備してください。

サブキャンプ救護所

参加隊で対応できない応急処置を行う救護所を各サブキャンプに設置します。

開設期間：8月3日（金）～8月10日（金）予定

設置場所：各サブキャンプ本部地域

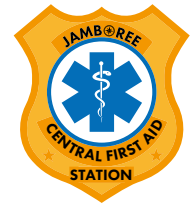
対応範囲

各サブキャンプ本部に設置する救護所テント内で傷病者に対する初期対応と応急処置を行うほか、サブキャンプ救護所での応急処置を超える傷病については、中央救護所との間で連絡・調整を行います。

サブキャンプ救護所に参加者が持参するインシュリンなど保冷の必要な医薬品を保存する冷蔵庫の設置を検討中です。

中央救護所

中央救護所は、会場内で可能な限りの医療処置を行います。検査や手術など複雑な処置が必要な場合は近隣の病院へ搬送します。場外病院での治療・薬代は自己負担となるほか、スカウトの場合には引率する指導者が必要となり、会場・病院間の移動は派遣団で対応することがあります。



開設期間：8月3日（金）～8月10日（金）

開設時間：9:00～20:00

（20:00から翌日9:00の間は時間外対応となります。）

設置場所：野球場

対応範囲

キャンプ生活が困難な傷病者を受け入れ、会場内で可能な範囲の医療行為を行い、その範囲を超える場合は場外の近隣病院へ搬送します。

暑い環境下での野外活動を支障なく行うため、ジャンボリーに参加する前少なくとも2週間は睡眠を十分にとり、疲れを持ちこまないよう体調管理に努めましょう。



17NSJにおける セーフ・フロム・ハームへの取り組み

ボーイスカウト日本連盟では、平成29年度より安全で安心なスカウト活動を提供するため、「セーフ・フロム・ハーム」ガイドラインを策定し、すべての指導者に対して加盟登録時の「セーフ・フロム・ハーム」の研修（eラーニングで提供）を必須としました。これにより、いじめ・身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト（無視）・搾取（児童労働、無理に奪う取る）などの危害について、予防と対処法を実践し、スカウト運動の「質」向上を目指しています。

今大会においても、すべての参加者が安全で安心な活動をし、質の高い大会を目指すためセーフ・フロム・ハームに取り組みます。

セーフ・フロム・ハーム事前研修

今大会に参加する指導者は、すでにセーフ・フロム・ハームのeラーニングや集合研修により重要性を認識し、日々安全で安心な活動を推進されていると思います。このことから17NSJ参加にあたって特別な事前研修は行いませんが、大会での通報や相談の方法、ジャンボリーという環境特有の問題についてハンドブック等を通じて周知していきます。



大会での対応

セーフ・フロム・ハームの未然防止のためにすべての参加者が「気づきの目」をもって大会に参加することが必要です。参加者の言葉遣い、態度などにも注意を払い、必要な場合は注意をするなどの対応をとります。

大会会場内でセーフ・フロム・ハームに該当するものを見た、聞いた、または受けたという場合、近くの警備担当者や本部スタッフ、参加隊指導者などに通報します。また各サブキャンプのセーフ・フロム・ハーム担当窓口、カウンセリング担当窓口でも相談することができます。さらに特設ダイヤルに通報することもできます。詳しいことはハンドブック等を通じて周知していきます。

カウンセリングについて

カウンセリングの目的

慣れない長期間の野営生活や環境の変化から、悩みや不安を抱えてしまうことが考えられます。こういったことに対し、参加者が相談したりリラックスできる場所としてカウンセリングを提供します。

大会での対応

今大会では大会本部だけでなく、各サブキャンプにもカウンセリング窓口を設置します。これにより、参加者の皆さんが身近なところでカウンセリングを受けられるだけでなく、気軽に相談できる環境を構築します。

特設ダイヤルの設置

大会期間中のセーフ・フロム・ハームに関する相談窓口については、大会本部の担当者へ直通の特設ダイヤルを開設する予定です。



費用・申し込み方法

1人1日

1,000円（事前申し込み）

1,500円（当日受け付け）

見学者の参加費は、1人1日1,000円です（未就学児は無料）。日ごとに申し込みサイトでチケットをご購入ください。当日受け付けは1,500円です。8月7日は事前申し込みのみで、当日受け付けはありません（事前申し込みをされたことが確認できない場合は入場をお断りさせていただきます）。

参加費には会場受け付け時に渡す見学者識別章、資料、場外駐車場から会場までのシャトルバス料金、見学者が参加できるプログラムの費用が含まれます。

ただし、ボーイスカウト石川県連盟所属の加盟員の方、石川県にお住まいの方、珠洲市にお住まいの方は別途それぞれの申し込み方法と料金設定がありますので、以下の連絡先にお問い合わせください。誤って大会ホームページよりチケットを購入された場合、返金ができないことがありますのであらかじめご了承ください。

チケット購入方法

大会ホームページに今後掲載する見学者情報をご確認ください。

ボーイスカウト石川県連盟所属の加盟員の方

ボーイスカウト石川県連盟事務局までお問い合わせください。

電話番号：076-272-8064

石川県にお住まいの方

石川県教育委員会事務局生涯学習課日本スカウトジャンボリー開催支援室までお問い合わせください。

電話番号：076-225-1839

珠洲市にお住まいの方

珠洲市教育委員会事務局日本スカウトジャンボリー推進室までお問い合わせください。

電話番号：0768-82-7714

見学日程

見学可能な日程は前号でお知らせしたとおりですが、今後の調整により変更になることがありますので最新情報を必ずご確認ください。

日程	見学時間帯	主な行事
8月5日(日)	13:00~21:00	午前：設営、夜間：開会式
8月6日(月)	9:00~16:30	プログラム
8月7日(火)	13:00~21:00	午前：信仰奨励 夜間：ジャンボリー大集会
8月8日(水)	9:00~16:30	プログラム
8月9日(木)	9:00~21:00	プログラム、夜間：閉会式

見学の範囲

プログラムエリアのほか、自団の参加者が配属されたサブキャンプを見学できますが、全体行事实施日の16:30以降はサブキャンプに留まることはできません。

また、全体行事の見学については、アリーナに見学者の着席位置を指定します。

交通・宿泊

車両を利用する場合は、会場の手前にある蛸島漁港の駐車場を利用し、会場までシャトルバスでの入場となります。貸切バスを利用する場合は、会場内のバスターミナルまで入場できますが、降車後のバスは蛸島漁港の駐車場に移動し待機になります。自家用車、貸切バス問わず、見学者用の駐車票を申し込みサイトからダウンロードし、必要事項を記入して持参し、駐車する車内の見えやすい位置に掲示してください。

見学者は会場内では宿泊できません。見学に際して宿泊が必要な場合には、見学者自身で手配をお願いします。大会による宿泊斡旋は行いませんので、周辺の宿泊情報については、珠洲市や石川県の観光情報サイト（大会ホームページにリンク有り）をご参照ください。



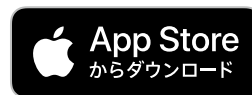


大会スマートフォンアプリ配信開始

大会スマートフォンアプリのiOS版、Android版を配信しました。さまざまな情報を集約するこのアプリは、大会ホームページ同様にさまざまな情報を取得できるほか、デジタルマップや各SNSなどへのリンクなど、アプリならではの機能がついています。参加の有無にかかわらず、ぜひインストールしてください。

各OSのアプリストアで「ジャンボリー」などで検索するとダウンロードでき、大会ホームページからもダウンロードできます。

なお、会場付近は多くの人が通信をしますので、会期前のインストールをおすすめします。



各種 SNS

日本連盟公式のSNSでは、大会の実行委員会インタビューなどの動画を今後定期的に掲載していくほか、現地の空撮映像なども掲載予定です。また、instagramなどでは、現地の写真も掲載しております。

今後もさまざまな情報を発信していきますので、大会ホームページの確認はもちろん、ぜひ各種SNSのアカウントをフォローしてください。



次号の予定

第3号 2018年6月

- ・会場での受付、到着・出発の流れ
- ・外国参加者最新情報
- ・信仰奨励の集い、各教宗派の集い
- ・シャトルバス運行表
- ・支給品（ワッペン・IDカード）、ガイドブック類の紹介
- ・プログラム最新情報
- ・ジャンボリー・アワード
- ・生活に関する更新情報

等を予定しています。

お問い合わせ

大会についてのお問い合わせは、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。なお、大会への参加に関するお問い合わせは、各県連盟の事務局までお問い合わせください。

発行



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒113-8517 東京都文京区本郷 1-34-3

TEL 03-5805-2634

FAX 03-5805-2908

E-mail 17nsj@scout.or.jp

ホームページ <http://www.scout.or.jp/>